

平成13年水稻褐変穂の玄米収量と品質

古川農業試験場

1 取り上げた理由

本年，7月下旬以降の極端な低温寡照の影響により，県内各地の水稻の穂に褐変症状が多発した。そこで，県内 12 ほ場及び古川農試作況ほで発生した褐変穂を調査した結果，玄米収量と玄米品質の特徴が明らかになったので，参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 症状：褐変穂は止葉葉鞘の褐変症状の有無にかかわらず発生し，褐変穂では内穎・外穎ともに褐変した籾が穂全体にみられた（図 - 2）。
- 2) 玄米収量：褐変の被害程度が大きいほど，玄米収量比，登熟歩合，玄米千粒重が低下した（図 - 4）。
- 3) 玄米品質：健全穂と比較すると褐変穂の整粒歩合は低く，特に未熟粒と茶米の割合が高い（図 - 3）。篩目を大きくすると被害粒が減少し，整粒歩合を高めることができる（図 - 1）。

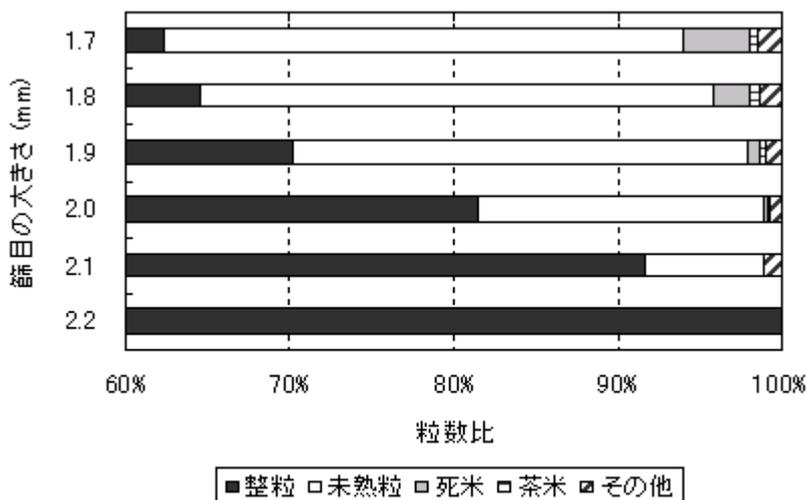


図-1 篩目の大きさによる褐変穂の玄米品質割合（古川農試作況ほ）
 注1) 供試したサンプルの被害程度は，一穂の全籾に対する褐変籾の割合が21-90%の“中～多”である。
 注2) 玄米品質はK社製品品質判定機(RN-300)により測定。

3 利活用の留意点

- 1) 本調査は，品種「ひとめぼれ」を対象に，成熟期に抜き取った穂を籾の褐変程度別に分類し，玄米重及び玄米品質を調査したものである。
- 2) 被害程度は，1穂の全籾に対する褐変籾の割合により，下記5段階に分類した。

被害程度	無	少	中	多	甚
褐変籾割合 (%)	0～5	6～20	21～50	51～90	91～100

（問い合わせ先：古川農業試験場水田利用部 電話 0229-26-5106）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

水稲作況試験 平成12年度～

2) 参考データ



図 - 2 褐変穂及び褐変粒の外観

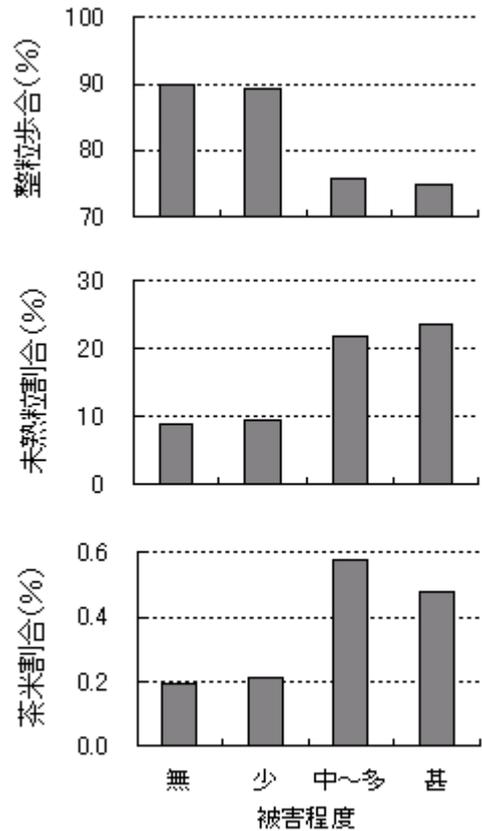


図-3 褐変穂の被害程度と玄米品質割合 (篩目:1.9mm)

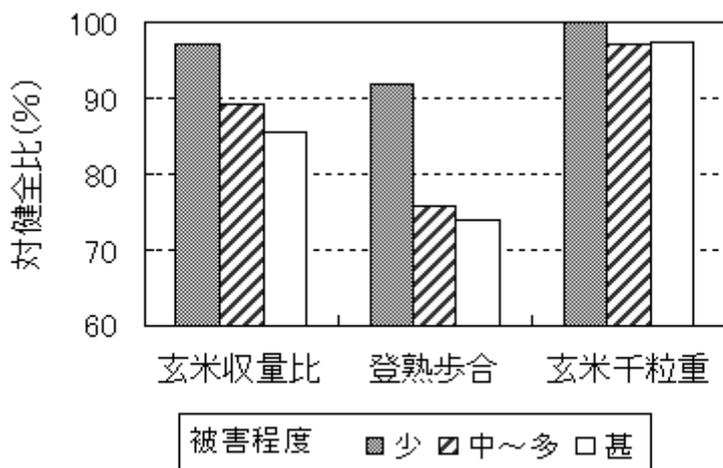


図-4 褐変穂の被害程度と玄米収量 (篩目:1.9mm)
注)玄米収量比は粗玄米重を100とした重量比。

3) 発表論文等

なし